2 お釈迦様のハスを探す冒険
――時空をつなげる希望のハス

高畑 公紀 *Kiminori Takahata*
高野山真言宗 寄足山 生蓮寺 住職

ハスの美しさ，神々しさは，地域・人種・世代を超えて人々を魅了している。ハスはDNAのように過去・現在・未来を，さらには，この世・あの世をつなぐ役割を担っている。お釈迦様が生きておられた時代に咲いていたハス種子を探す冒険を中心に，ハスと人の関わりを紹介する。

1 はじめに

大賀ハスにあるように，ハスは種子の状態で2,000年以上も生命を宿している[1)]。また，成長も旺盛で驚異的な生命力を持っている。

一方で，花はとても神秘的な花を咲かせる。地下茎であるレンコンが泥の中で旺盛に育ち，その泥に染まることなく，大空に神秘的で清らかな花を咲かせる。泥が私たちの世界を表しており，どんなに汚れた世界にいても，心は清らかに保つことができると教えてくれている。このことから，ハスは仏教のシンボルの花となっている。

仏教経典においてもハスの花は深い意味をもって登場する。成立が古く，仏教の開祖であるお釈迦様の教えに近いと考えられる原始仏教経典の一つ「スッタニパータ」には，「池に生える**蓮華***を，水にもぐって折り取るように，すっかり愛欲を断ってしまった修行者は，この世と かの世とをともに捨て去る。」や「竜（修行完成者）は諸々の（偏見）を離れて世間を遍歴するのであるから，それらに固執して論争してはならない。たとえば汚れから生える，茎に棘のある**蓮***が，水にも泥にも汚されないように，そのように聖者は平安を説く者であって，貪ることなく，欲望にも世間にも汚されることがない。」[2)]とある。

生蓮寺本尊である地蔵菩薩像とハス

用語解説 *Glossary*

【蓮（はす）と蓮華（れんげ）】
どちらもハスのことである。仏教経典ではスイレンも含まれている。仏教経典に出てくる青いハスは熱帯スイレンと考えられている。

この項では人とハスの関わり，特に仏教との関わりを論じたい。はじめに，筆者が進めているお釈迦様のハスを見つける冒険について記す。次に極楽浄土とハスについてお話をする。ハスがDNAのような役割を担い，時空を超えて繋がっていることを感じていただければと思う。まさに「遺伝」のような繋がりを感じることができる。

2 お釈迦様のハスを見つける冒険

お釈迦様のハスを見つける冒険とは，お釈迦様が生きておられた2,500年前に咲いていたハス種子を見つけて，花を咲かせようという冒険プロジェクトである。

大賀博士は1951年千葉県検見川 落合遺跡の泥炭地層下の青泥中から大賀ハスの種子を発見し，翌年開花させた[1)]。2,000年前とされるハス種子を発見して開花させた。開花のニュースは国内外に大きく報道され，世界中の人々に希望を与えた。

大賀博士と同じ様に，お釈迦様が歩まれた仏跡からお釈迦様が生きておられた2,500年前に咲いていた，お釈迦様も実際に見ていたハス種子を見つけて，現在に咲かせようという冒険プロジェクトである。

大賀博士はハスを「蓮は平和の象徴なり」として，ハスの普及に努めた。同じようにお釈迦様が実際に見ていたハスを開花させて，普及させたいと考えている。現在はコロナウィルスやウクライナ情勢など，暗い話が世界全体を覆っている。お釈迦様のハスを咲かせて，世界が平和になるよう，安心した社会になるよう，ハスが希望の花として咲き続けることを目的としている。

最終的にはインドに赴いて，お釈迦様が歩まれた仏跡での発掘をおこないたいと考えているが，まずは大賀博士がおこなったように日本にある遺跡の発掘から始めることにした。特にすでに発掘された遺跡からハスが出土していないか文献検索をおこなった（**表1**）。文献検索には国立民族博物館が提供する日本の遺跡出土大型植物遺体データーベースを用いた（https://www.rekihaku.ac.jp/）。

表1 ハスが出土している遺跡

遺跡名	場所	時代	ハスの種子数
入江内湖遺跡	滋賀県	縄文時代早期～縄文時代前期	0
雪浦清水遺跡	長崎県	縄文時代前期～中期	1
栗谷遺跡	鳥取県	縄文時代後期	※a
伊木力・熊野神社遺跡	長崎県	縄文時代	1
居徳遺跡群	高知県	縄文時代～古代	0
下村加茂遺跡	富山県	弥生地代前期	1
朝日遺跡	愛知県	弥生時代～古墳時代中期	1
伊興遺跡	東京都	古墳時代	1
的場遺跡	新潟県	古墳時代	2
六斗蒔遺跡	新潟県	古墳時代中期	1
飛鳥京跡	奈良県	飛鳥時代	22
鞠智城跡	熊本県	飛鳥時代～平安時代	1
平城京	奈良県	奈良時代	0
平城宮	奈良県	奈良時代～平安時代	個数不記載
平安京右京三条一坊三・六・七町跡	京都府	平安時代	0
十三湊遺跡	青森県	中世	※b
平手町遺跡	愛知県	鎌倉時代～室町時代	※b
史跡本願寺	京都府	安土桃山時代～江戸時代前期	1
若宮八幡神社遺跡	東京都	中世～近世	3
青戸・葛西城址Ⅲ	東京都	中世～近世	個数不記載
横川一丁目遺跡	東京都	江戸時代	2
木ノ新保遺跡	石川県	近世	5
横堤遺跡	大阪府	近世	0
水走・鬼虎川遺跡	大阪府	近世	26
芝崎町二丁目遺跡	東京都	近世～近代	68

※a：報告書の写真を見ると，オニバスの種子のようである。
※b：報告書の写真を見るとハス種子には見えない。

表1にあるように全国25ヵ所の遺跡からハスが出土していた。その中で15ヵ所の遺跡でハス種子が出土していた。

そのうちの一つは何と，筆者が住職を勤める生蓮寺から車で30分。しかも過去の発掘で22個もハス種子が出土していた。その場所は，奈良県明日香村にある飛鳥京跡苑池（国史跡・名勝）。七世紀中ごろ斉明天皇の時代に造営が始まった国内

図1　飛鳥京跡苑池での発掘調査

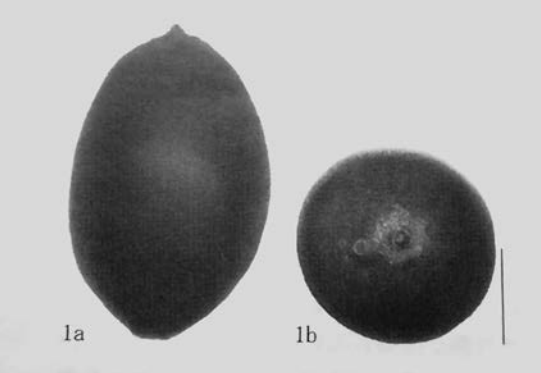

図2　芝崎町二丁目遺跡から出土したハス種子

（仮称）西浅草三丁目計画に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書より。
スケール5 mm。

図3　上野恩賜公園 不忍池 辯天堂とハス

初とされる本格的な宮廷庭園跡からハス種子が22個も発掘されていた[3]。

「灯台元暗らし」とはこのこと，すぐに過去に発掘された22個のハス種子の保管場所を探し始めた。ハス種子は，調査主体の橿原考古学研究所にはなく，奈良教育大学のとある教授の元にあることが判明した。ハス種子を橿原考古学研究所に返還してもらうよう奈良県庁の職員を通じて打診したが，いつまでたってもハス種子は出てこず，遺失したとのこと。誠に残念である。

一方で，西暦2021年9月から，飛鳥京跡苑池を新たに発掘することになった。以前発掘した場所と異なる飛鳥京跡苑池の一部を発掘することとなった。もしかしたらハス種子が出てくるかもしれない。ハス種子が出てくることを期待して，発掘を続けたが，残念なことにハス種子は出土しなかった（**図1**）。

遺跡から出土しているハス種子は文化財である。一つの箇所から多くの種子が出ていれば，発芽させてもらえることができる。少数の種子しか出土していない場合は，文化財として保管する必要があり，発芽させることができない。

表1を見ていただくとわかるように，多くの遺跡ではハス種子は1個である。その中で東京都台東区にある芝崎町二丁目遺跡からは68個のハス種子が出土していた[4]（**図2**）。

ハス種子の推定年代は西暦1600年代～1800年代である。多数のハス種子が出土していることから，発芽許可も下りそうである。現在，台東区に連絡を取り，芝崎町二丁目遺跡より出土したハス種子の保管状況を問い合わせている。

芝崎町二丁目遺跡は東京都台東区にある。同じ東京都台東区には上野恩賜公園 不忍池があり，毎年ハスが咲き誇っている（**図3**）。芝崎町二丁目遺跡と不忍池の直線距離は，わずか1.8 kmしか離れていない。

不忍池には，少なくとも西暦1677年にはハスが生えていたと考えられている。西暦1677年に出版された「江戸雀」という本に不忍池のハスが詠み込まれた和歌が記載されている[5]。しかし，その後，第二次世界大戦中，食料増産のため不忍池は水田として利用され，ハスは消滅してしまっ

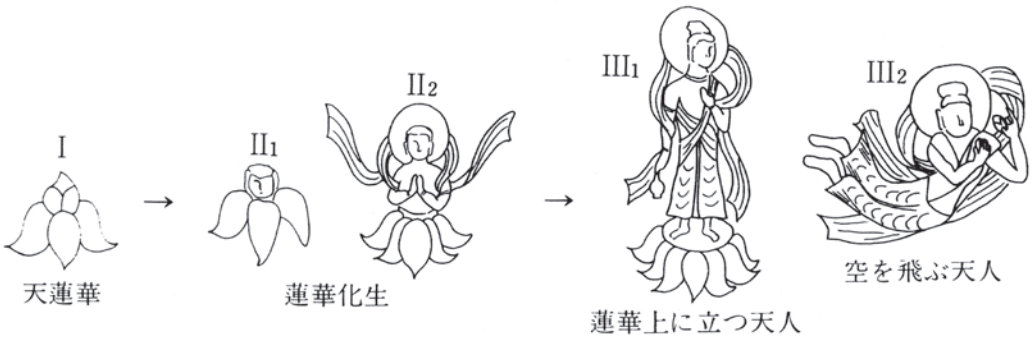

図4　蓮華より化生して菩薩・天人へ

吉村怜. 天人誕生図の研究　東アジア仏教美術史論集 24（東方書店, 1999）の図13〈蓮華より化生して菩薩・天人へ〉より。許諾を受けて転載。

た。終戦後，新たにハスを植え込んだ。現在，不忍池で咲いているハスは戦後に植えられたものである。

芝崎町二丁目遺跡は不忍池と直線距離でわずか1.8 kmしか離れていない。芝崎町二丁目遺跡から発掘されたハスは，もともと不忍池で生えていたハスの可能性がある。発掘されたハス種子は，西暦1600年代～1800年代と推定されており，西暦1677年に出版された「江戸雀」に記載されている不忍池で生えていたハスと同一の品種の可能性がある。

日本国内の遺跡から出土したハス種子を探し出して，発芽させようとしている。将来的には仏教発祥の地，インドに赴いて，お釈迦様が生きておられた2,500年前のハスを咲かせたい。ハスは仏教のシンボルの花であるが，その神々しさ故に，人々を魅了し，過去，現在，未来を繋いでいる。数千年前のハス種子が生命を宿しており，現在，そして未来に花開くのである。

3　この世とあの世をつなぐハス

ハス種子は硬い殻に守られて数千年も生命力を宿していることから，過去・現在・未来へと私たちをつないでくれている。ここではハスを介して，この世とあの世のつながりについて二つの事例をあげたい。はじめに中国・雲崗石窟（うんこうせっくつ）に見られるハスから生命が誕生する蓮華化生（れんげけしょう）について記す。次に十円硬貨に描かれている京都宇治 平等院 鳳凰堂について紹介したい。

ハスの花の中から半身を現している聖なる者を描いた図像を，蓮華化生（れんげけしょう）という（**図4**）。

化生とは，生き物の生まれ方の一つである。仏教では，生き物の生まれ方の違いを4種類に分類している。哺乳類のように母胎から生まれる「胎生」，鳥類のように卵から生まれる「卵生」，湿気から生まれる「湿生」，そして自らの業力によって忽然と生まれる「化生」の4種類に分類している。天の神々や人が亡くなって次の生を受けるまでの間の霊的存在が化生するといわれる。

仏教経典である妙法蓮華経には，「天界や人間界に生まれた者は勝れた幸いを得るし，仏の国のハスの花につつまれて生まれます（受勝妙楽。若在仏前。蓮華化生）[6]」。と記述されている。また仏教経典である無量寿経には，「この人びとは七宝の蓮華の中に忽然と自然に生まれます。蓮華の台に端然と座し，一瞬に身は瑞相をもち，光明も智恵も功徳も，かの国土の菩薩たちのように完全に具えます。この人々が化生の者たちです（此諸衆生，於七寶華中，自然化生。跏趺而坐須臾之頃，身相光明智慧功德，如諸菩薩，具足成就）[7]」と記

図5　九品来迎図
中品中生図（部分）国宝 平安時代。　（写真提供：平等院）

図6　平等院蓮（手前）**と阿弥陀堂**（奥）
（写真提供：平等院）

述されている。

ハスから聖なる者が生まれる蓮華化生は，ガンダーラ美術にその祖型があるものの，中国北魏時代（西暦386～534年）に広く流行した。北魏時代に造られた雲崗石窟には多数の蓮華化生の作例を見いだすことができる[8]。

吉村怜氏によると，聖なる生命の母胎である天の蓮華（I）が，変化しはじめると，まず頭部が出現し，ついで合掌している上半身が出現し，円光や天衣を備えた姿（II_1・II_2）となり，下半身が出現すると，蓮華上に立つ天人（III_1），あるいは空を飛ぶ天人（III_2）へと成長すると説明されている[8]（**図4**）。

雲崗石窟に見られる蓮華化生は，北魏時代の仏教徒が極楽浄土の世界を想像し，極楽浄土に生まれる神聖な生き物は，清らかなハスから生まれると考えたのである。ハスの持つ神々しさに，生命誕生の不思議さを重ね合わせ，清らかな世界を希求したのである。

次に十円硬貨に描かれている京都宇治 平等院鳳凰堂を例にあげたい。鳳凰堂のモデルは，仏教経典の一つである観無量寿経に描かれている。事実，鳳凰堂の内部には，観無量寿経に描かれている記述に沿って，人が臨終に際し，死後，極楽浄土へ旅立つ様子が描かれている。（**図5**）。

観無量寿経には人それぞれの気質や生前のおこないによって，どのように極楽浄土に往生することができるのか書かれている。生前のおこないによって人々を9種類に分類し，それぞれの人々がどのように極楽浄土へ往生できるのか記されている。

区分された九つの内の一つ，中品中生（ちゅうぼんちゅうしょう）の人がどのように極楽浄土に生まれるかを観無量寿経の内容を紹介する。中品中生の人とは，仏教徒の戒めをしっかりと守り，極楽浄土に往生したいと願う人である。「このような人は，その臨終のときに阿弥陀仏が多くの眷属とともに金色の光を放ちながら，七宝の蓮華を持って，その人の前に現れます。そのとき，その人が自分を見れば蓮華の上に座し，蓮華台の花弁はすぐに閉じて乗り物になります。そして，西方極楽浄土に往生して，宝池の中に生まれるのです。その人は蓮華の胎内で七日を過ごすと，蓮華の胎が開きます。その人は目を開き，合掌して，阿弥陀仏を讃嘆します[7]」。

概略すると，人々が臨終すると，ハスの蕾がやってきて，その蕾に乗り込む。ハスの蕾が乗り物となって，極楽浄土の宝池に連れて行ってくれる。極楽浄土に着いても，しばらくはハスの蕾の中でとどまり，開花すると阿弥陀仏がおられる極楽浄土に往生できるというものである。

鳳凰堂前の阿字池の発掘調査を1999年におこなった際，江戸時代後期と推定される地層から1粒のハス種子が出土した。発掘されたハス種子は

発芽し，蕾の状態では先端が薄いピンク色で，開花後白色に変化する花が咲いた（**図6**）[9]。

鳳凰堂前の阿字池には観無量寿経に描かれている宝池のように，ハスが咲き乱れていたのかもしれない。仏教経典の一つ阿弥陀経には，極楽浄土の様子として，次のように書かれている。「極楽浄土の宝池の中に，車輪ほどの大きな蓮の花が咲いています。青い蓮華は青い光，黄色の蓮華は黄の光，赤い蓮華は赤い光，白い蓮華は白い光を放って輝き，清らかな香りを漂わせています[7]」。

鳳凰堂は「この世をば　我が世とぞ思ふ　望月の　欠けたることも　なしと思へば」と詠んだ藤原道長の息子，頼通が西暦1053年に建設したものである。この世での栄華極めた藤原氏でさえ，死後の世界を恐れ，死後，極楽浄土へ往生できるよう，現実の世界に極楽浄土を作ったのである。人々は死後の世界を畏怖し，その恐ろしさゆえ，現実世界に清らかな極楽浄土を顕現させたのである。その中でハスはこの世とあの世をつなぐ乗り物として描かれている。

4 時空をつなぐ希望の花

以上見てきたように，ハスは過去・現在・未来をつなぐだけでなく，この世とあの世をつないでいる。近年では，男の子供に「蓮（れん）」と名づけることが流行している。生まれ年別名前ベスト10によると，「蓮」が1999年に9位となって，初めて名前ランキングに顔を出すようになった。その後，2022年まで7度も1位を獲得している[10]。

子供の名づけに「蓮」を使用するのは，親が子供に対して極楽浄土のような世界で，美しく伸びやかに育ってほしいとの願いが込められているのであろう。ハスがDNAのような役割を担い，世代をつなげている。まさに親から子へ「遺伝」のような繋がりを感じることができる。

ハスは私たちにとって，憧れの極楽浄土に咲く花であり，また平和で安心した清らかな世界を表わす象徴なのである。大賀博士が「蓮は平和の象徴なり」としてハスの普及を努めたように，私たちはハスを普及させ，現実世界が極楽浄土のような世界になるよう努力しないといけない。

［文 献］

1) 大賀一郎. ハスを語る.（忍書院, 1954）.

2) 中村元. ブッダのことば　スッタニパータ（岩波文庫）.（岩波書店, 1991）.

3) 卜部行弘, 岡田雅彦, 奥田尚, 奥山誠義, 金原正明・ほか. 史跡・名勝飛鳥京跡 苑池(1) ―飛鳥京跡V.（奈良県立橿原考古学研究所, 2012）.

4) 小畑直輝, 川西直樹, 小俣悟, 梶ヶ山真里, 鈴木茂・ほか. 芝崎町二丁目遺跡（仮称）西浅草三丁目計画に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書.（藤和不動産, 2009）.

5) 近行遠通, 菱川師宣. 江戸雀.（鶴屋喜右衛門, 1677）.

6) 大角修. 全文現代語訳 法華経（角川ソフィア文庫）.（KADOKAWA, 2018）.

7) 大角修. 全文現代語訳 浄土三部経（角川ソフィア文庫）（KADOKAWA, 2018）.

8) 吉村怜. 天人誕生図の研究 ―東アジア仏教美術史論集.（東方書店, 1999）.

9) 平等院. Viewed 2023/02/12 <https://www.byodoin.or.jp/saijiki/>.

10) 明治安田生命. Viewed 2023/02/08 <https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/year_men/boy.html>.

高畑 公紀 *Kiminori Takahata*

高野山真言宗 寄足山 生蓮寺 住職

2005年，京都大学大学院 生命科学研究科修了。生命科学博士。2019年より現職。専門分野は，仏教，密教，分子生物学。第19回 独創性を拓く 先端技術大賞 フジテレビジョン賞（2005年）受賞。主な著書に，五感で楽しむ蓮図鑑（淡交社，2018）。

生蓮寺（しょうれんじ，奈良県五條市）は平安初期，嵯峨天皇（在位809年～823年）の皇子 安産祈願のために建立された寺院。その後，弘法大師 空海上人が高野山を開かれる時，生蓮寺に立ち寄られて，道中の晴れ祈願をされたことから晴れ祈願のお寺として親しまれている。現在はハスが咲き乱れるお寺としても有名。筆者は生蓮寺で住職を務めるかたわら，ハスの研究をおこなっている。本文にあるお釈迦様のハスを咲かせる冒険とハスの品種改良を主におこなっている。ハスの品種改良では，10月まで咲き続ける品種である生蓮寺蓮，生蓮寺華蓮などを作出した。
（生蓮寺HP https://www.ozizou.jp/）

10月まで咲く生蓮寺華蓮